「働く女性のネットワーク会議」 参加者募集について

資料提供平成25年4月30日課名働く女性応援PT担当者津島,池田内線 3419

直通

082-513-3419

1 概要

7月20日(土)に広島国際会議場で開催する「働く女性のネットワーク会議」の参加者募集を本日から開始する。

2 開催目的

現状 | 働く女性の約6割が出産を機に離職。そのうち3割は仕事が続けたかったが離職

要因

- ○「女性が職業を持つこと」に関する県民意識は、「子どもができてもずっと続けるほうがよい」は 25.7%で、全国 45.9%より大幅に低く、女性の就業継続について、保守的な傾向にある。
- ○女性労働者が、仕事と育児の両立に関するスキルなどを学ぶ機会や情報交換をしたり、悩み を共有し、励ましあう機会が十分ではないことに加え、身近にロールモデルがいない。

対策

働く女性の活躍促進に向けた意識啓発

平成24年度:働く女性を対象とした研修会,個別相談を実施

企業内への奨励金制度で企業内への事業効果の波及促進

事業の検証

①働く女性だけでなく経営者など社会全体への理解促進が必要

②ネットワークづくり、ロールモデルの設定など、座学プラスαの取組の充実が必要

平成25年度:従来の取組に加え,

「働く女性のネットワーク会議」を開催 🤇

県として初の取組!

企業の経営者等

- ★ 社会全体の理解を求めるため、経営者等も対象としたプログラム
- ★ 大規模なネットワークづくりの場の設定、ロールモデルとなりうる多彩な講師陣

目標 出産・育児による離職を防止し、女性労働者の着実な就業継続を図る。

3 開催内容

		/ <u>比未以性呂石寺</u>
対 象	働く女性、企業の経営者・人事労務担当者等	企業において女性が活躍する ことの意義,女性の能力活用の方
開催日	平成25年7月20日(土) 13:30~	法についての講演等があります。
会 場	広島国際会議場(広島市中区中島町1-5)	<u>働く女性</u> キャリアデザインや仕事と家
定 員	300人	庭の両立のスキル等が学べます。
13:30~ オープニング プログラム 13:40~ 基調講演 (詳細別紙) 15:25~ 分科会 17:10~ 交流会(ネットワーキングビュッフェ)		女性同士のネットワークづくり ができ、ロールモデルを見つけら れます。)
参 加 費	無料,交流会のみ4,000円	
申 込	6月30日(日)までに 公益財団法人広島県男女共同参画財団まで TEL082-242-5262 FAX082-240-5441	

~プログラム~

13:30		
~	オープニング	広島県・広島県男女共同参画財団 あいさつ
13:40		
13:40 ~ 15:10	基調講演 (会場:ヒマワリ)	ダイバーシティ経営と組織活性化 ○講師 「Young Global Leader 2007(世界の若手リーダー250人)」 岡島悦子さん (株式会社プロノバ代表取締役社長)
		働く女性の能力開発/キャリアアップ ○講師 キャリア開発の第一人者 河野真理子さん (株式会社キャリアネットワーク 会長)
		ワーキングマザーの子育て○講師発達心理学・母性研究のオーソリティー大日向雅美さん(恵泉女学園大学大学院 教授)
15:25 ~ 16:45	分 科 会 (パネルディスカッション) 3テーマ (会場:コスモス他)	 ダイバーシティ経営と組織活性化 ○コーディネーター 岡島悦子さん(株式会社プロノバ 代表取締役社長) ○パネリスト 花形照美さん(株式会社リクルートホールディングスソーシャルエンタープライズ推進室 室長) 竹内雄司さん(マツダ株式会社 人事室 副室長)県内企業のダイバーシティ推進担当者 1名 調整中
		 働く女性の能力開発/キャリアアップ ○コーディネーター 河野真理子さん(株式会社キャリアネットワーク会長) ○パネリスト 日高乃里子さん(帝人㈱ 人財室 ダイバーシティ推進室長) 福田加代子さん(株式会社みづま工房 営業部 部長) 高宮麻衣さん(デルタ工業株式会社 総務部 人事課)
		ワーキングマザーの子育て ○コーディネーター 大日向雅美さん(恵泉女学園大学大学院 教授) ○パネリスト 麓幸子さん(日経BP社ビズライフ 局長) 吉田正子さん(㈱アンデルセン・パン生活文化研究所 代表取締役 社長) 今井絵美さん(山下江法律事務所 秘書部長 弁護士秘書)
17:10 ~ 18:40	交 流 会 (ネットワーキングビュッフェ) (会場:ヒマワリ)	ビュッフェ形式(飲み物込で 4,000 円)

【働く女性応援プロジェクト・チームの施策概要】

少子化の進行



労働力人口の減少 中長期的な労働力人口の不足



女性の潜在的 労働力の活用が不可欠

状 現

出産・育児を機に女性労働者が離職

- 6割が離職
- ・就業継続意欲をもつ女性の3割が離職

女性の再就職が困難

- ・働き方に対する迷いや不安がある
- ・預け先に不安がある

M字カーブ(労働力人口)の発生 25歳~44歳の女性の労働力減少

要 因

識

固定的な 性別役割分担意識が 根強く残っている

職場環境

仕事と家庭の両立の ための職場環境の 整備の遅れ

就業支援 スキル

就職に関する不安

保育環境

保育ニーズに沿った 保育施設 (事業所内外) が十分でない

解決すべき課題

女性・事業主の意識改革

企業風土の改善、女性の再就職への誘導

保育環境の整備

働く女性応援プロジェクト・チーム

3 局実施事業の一元化→総合的かつ一体的実施によるシナジー効果+新たな取組

事業名

働く女性の 就業継続応援事業

- 研修会 個別相談会
- 出前講座
- ・新働く女性のネットワーク 会議の開催
- 報告会の実施 奨励金 の支給

子育てしやすい 職場環境整備事業

- 男性の育児休業等促進事業 《いきいきパパの育休奨励金》
- ・仕事と家庭の両立支援推進事業
- 《一般事業主行動計画策定支援》
- 事業所内保育施設整備

女性の就職 総合支援事業

- ・わーくわくママサポート コーナーの運営
- 就業意欲の啓発

待機児童 緊急対策等

- · 保育所整備事業
- 新保育コンシェルジュ配置事業
- 新賃貸物件による保育所分園等 整備事業
- · 幼稚園機能拡充支援事業
- · 保育士人材確保事業
- ・認可外保育所の認可促進事業
- 保育対策等促進事業
- 放課後児童クラプ事業

成 標 達

【女性の継続就業と仕事と家庭の両立支援】

●女性(25-44歳)の労働力率 78,0%(H27)

71. 9% (H22)

●女性 (25-44 歳) の就業率 7 O. 5 % (H27)

68.0% (H22)

【保育サービスの充実】

●保育所待機児童数

O人 (H26.4)

① 335 人(H24. 4)

●保育所等入所児童数

64, 483人(H27.3)

58, 483 人 (H22.3)

M字カーブ(労働力人口)の解消 25歳~44歳の女性の労働力増強